

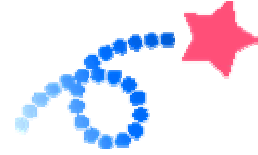
当日版!



曇天を吹き飛ばす
ボランティアの熱気

いけまぜかわらばん 第1号

2010年8月7日 いけまぜ夏フェス in 滝川現地実行委員会 発行



いつになく暑い日が続きましたが、最高温度を記録した昨日とは違って蒸し暑く、どんよりした朝となりましたが、そんな天気も拭きとばせと滝川市で今年もいけまぜ夏フェスタが開催されます。

ボランティアの受付が始まった頃にはポツリポツリと雨が降り始めましたが、あっという間にボランティアの熱気で雨もあがってしまいました。

朝早くから準備を進めてきたボランティアの人たちも、「今回はとっても熱くなりそう」と汗をかいていました。「札幌からきました。初めて参加しました。花火が楽しみです。」(札幌・もりもとあすみさん)など多くの地元ボランティアの方々が意欲満々で準備を進めていました。

全道から続々
参加者が集合



午前11時頃から会場となった滝川國學院短大に全道から参加者が集まりはじめました。

白老町から参加のためゆのりあきさんは「7回目の参加です。いろいろな人たちと交流できることを楽しみにしています」。札幌から参加したほりえさんは「初めての参加です。キャンプが楽しみです」。同じく札幌から参加のかなきのぞみちゃんは「3回目です。いろいろなゲームを楽しみたいです」。千歳のさいとうあかりちゃんは「3回目です。花火をとっても楽しみにしています」地元滝川のよしむらのぞみちゃんとうこさん母子は「初めてです。いろいろな人と会えることを楽しみにしています」などと話し、高橋先生と記念写真に収まっていた。

この項有島沙英子・加穂子記者



不平・不満・障害から進化は始まる 高橋実行委員長のあいさつ

ボランティアさんの昼食も終わり、参加者もほとんど集まった午後2時過ぎ、体育館で今年のオープニングセレモニーが始まりました。

最初にあいさつに立った高橋義男いけまぜ実行委員長は「不平・不満・障害から進化は始まると切り出し、お互いに話し合っ、相談することから全てが始まる」と切り出し、また、「道北に近い場所で今年はいけまぜを開催することができた。なかなか会う機会のないお母さんやお父さんとも会うことができることを楽しみにしている。滝川で開催することを本当に楽しみにしていた。」「いけまぜの開催はわざと準備不十分になっている。どうすればよいのか相談し合い、わからないことがあれば聞くことから始まる。今年は少し暑い日の開催となりました。熱中症に気をつけよう」とあいさつしました。高橋先生のあいさつの後に、振り付けの練習をした後、参加者全員で大きな声でいけまぜの歌を合唱しました。



また、オープニングの一番最初に開会宣言に立ったいわさきももこさん（滝川市内の中学2年生）は自分の体験を語った上で、いけまぜの意義を語り「今日と明日、ごちゃ混ぜになって楽しもう」と呼びかけました。

オープニングの来賓であいさつした田村滝川市長は「滝川市在住の浅野みどりさんが呼びかけ人になって実現した。多くの方々の共感を得て大きな波を起こすことができたことにとても感動しています。」

あいさつが終わった後、滝川市内の「車いすダンス心のハーモニー」メンバーによる車ダンスが披露され、軽やかに音楽合わせ舞い踊るダンスに参加者は思わず引き込まれてしまいました。

ダンスの後には滝川のさまざまな質問を集めたマルバツクイズが行われ今年はいけまぜがスタートしました。

今回の地元実行委員長の吉村元悟さんは「良くおいで下さいました。地域のスタッフが心を込めて歓迎いたします」と抱負をかたつてくれました。



みんなの熱気で暑さを飛ばせ

当日版!



いけまぜかわらばん 第2号

2010年8月7日 いけまぜ夏フェス in 滝川現地実行委員会 発行

いっせいにポイントラリー開始!



オープニングセレモニーが終わり、みんなはいっせいにグラウンドへ。ポイントラリーの始まりだ。

ストーンアート、ウッドクラフト、はんこづくり、ヨウヨウつりの水遊び、しゃぼん玉作り、かたくり粉遊び、ウサギ・アヒル・モルモットをさわる動物おさわり、グループパラシュートなどさまざまなイベントにみんなはもう夢中。

ヨーヨーつりをしていたしのざきあおいちゃん(札幌・初めて)は「ちょっとむずかしかった。もう少し頑張ります」。

はきやえいじくん(苫小牧・5回目)はストーンアートに挑戦し「石に絵を描いて上手に作れた」と満足顔。

グループパラシュートにはかえりやまようたくん(札幌・2回目)がチャレンジ「すごく楽しかった、もっとやりたい」と笑顔満面。

パークゴルフにはますざわなおやくん(札幌・4回目)が挑戦「ゴルフを初めてやったけどうまくできた。やったね」とVサイン。

シャボン玉の担当ボランティアおがわあきふみさん(滝川・初めて)は「いろいろな人が来て忙しいけどたのしい」と笑顔で語ってくれました。

会場となって國學院短大の校内や芝生のきれいなグラウンドでは多くの参加者がいろいろなポイントラリーにチャレンジし、歓声を上げていました。

岩見沢では雷が落ちて雨が降っているとの情報が入る中、参加者の全部にチャレンジするぞと言う気持ちが天に通じたのかな?



この項、有島沙英子・加穂子記者



ごはんはばっちりおまかせください

今年の晩ご飯は自衛隊のおじさんたちの手作りです。滝川の駐屯地から大勢のおじさんたちがわざわざ、ご飯を炊いたりカレーやシチューを作ることのできる炊事車を持ってきてくれました。カレーを作ってくれたすすきさんは「500人分作りました。もちろん味はバッチリです」。クリームシチューをこれまた500人分作ってくれたかとうたかしさんは「おいしくできました。ほっぺがおちるかも」。

また、東小学校体育館前で夕食の準備をしていたたかはしふさえさん（滝川・初めて）は「夕食準備ももう少しで整います。夕食を美味しくいただく参加者のみなさんの顔を早くみたい」と抱負を語ってくれました。



当日版!



いけまぜかわらばん 第3号

2010年8月7日 いけまぜ夏フェス in 滝川現地実行委員会 発行



今年のいけまぜ夏フェスの夕食のメインはカレーとチキンライスにシチューの2種類です。カレーもシチューも自衛隊のおじさんたちが大汗を流しながら作ってくれた快心作。盛りつけをしてくれた地元ボランティアのおばさんたちも大忙し。おかわりする子もいるなどカレーはあっという間に売り切れしました。



はぎわらかなとくん（札幌・3回目）は「カレーシチューどっちもおいしい。後は花火が待っている」と夕ご飯に大満足。

夕食ボランティアのたかはしゆかりさん（滝川・初めて）は「ソラプチのボランティアもやっています。美味しく食べてほしいと思っています」と答えてくれました。

さかいみずきさん（帯広・2回目）はカレーを食べながら「花火を見た後、寝るだけ」と答えてくれました。

ゆうせいくん（砂川・5回目くらい）は「きれいに食べました。もっと食べようかな」とちょっと足りなさ気味。

夕ご飯を食べ終わると、滝川東小学校の体育館ではではヨサコイソーランの踊りが始まり、参加者は鳴子や手をはたいて踊りのリズムに合わせていました。



ご飯を食べたら花火だぞ

今日の日...楽しい思い出



当日版!



いけまぜかわらばん 第4号

2010年8月8日 いけまぜ夏フェス in 滝川現地実行委員会 発行

夕食が終わる頃には少しずつ降り出した雨も、どうやら本降りになりそうな雰囲気。

雨が降り出した空をみんなで見上げて、天気ごい。そんなみんなの願いが通じたのか午後 7 時半頃には小降りになって、打ち上がる直前にピツタリと雨はやんでしまいました。



「雨なんか飛んでいけ」という大きな高橋先生の大きな声で、雨が引っ込んでしまった際に花火が打ち上がりました。

次々と打ち上がる大輪の花火が咲くたびにテントの中や校舎の中から「ワー きれい!」「ウワー スンゲー」などの大きな歓声や拍手がわき上がっていました。雨雲もみんなの大きな歓声で花火大会の最後まで静かにしていました。

さあ一寝る準備はできたかな

花火が終わると今日のイベントは全て終了。残念ながらお泊まりができずにお家に帰る参加者90数名の中にはすでに家路についた人も多く、花火大会から戻ってきた参加者は、布団の準備をしたり、顔を洗ったり、歯を磨いたりなど、今日一日の楽しい思い出を胸にしまい込んで消灯の時間を待っていました。すでに眠りの世界に入ってしまった参加者もいたようですが、今夜はいったいどんな夢を見るのかな?

さあ、明日の朝、みんなでラジオ体操をするぞ!!



みんなの寝る頃には雨足が強くなっていましたが、早起きの人が始める頃には雨はすっかり上がってしまいました。

たかまつさちこさん(札幌・2回目)は「寝ました。5時間です。もう少し寝たい、でも今日は頑張ります」と少し眠たそうな顔で答えてくれました。

6時50分に高橋先生の「おーい起きろ、早起きは三文の得だぞ・・・!?体操するぞ」の声でみんなが起床しました。

たいちあいさん(滝川・初めて)は「家は近くですが、短大に泊まりました。今日も頑張ります」と元気に答えてくれました。

ふくいちひろさん(滝川・初めて)は「ぐっすり寝ました。今日も頑張ります」笑顔で答えてくれました。

体育館に集まった参加者は、リーグに合わせてラジオ体操を行いました。ニッポンマンも体操に飛び入りして、大きなアクションで体操をして拍手喝采を浴びていました。



朝はラジオ体操から



朝ご飯は豪華メニューだ



朝ご飯は、クロワッサンと、コーンスープ、マーガリン、チーズ、チョコレートヤクルトがつくという豪華メニュー

朝ご飯を用意してくれた地元ボランティアのかわかみまきさんは「スムーズに用意できました。きっと美味しく食べてもらえると思います。」と準備の手応えを答えてくれました。はやかわあやかさん(苫小牧・初めて)は「8時間もぐっすり寝ました。ニッポンマンのサインももらえたいし、ラッキー。朝ご飯もしっかり食べます。」いしかわまことくん(小樽・5回目)は「これからスープを飲みます。パンおいしいよ」。つるやゆうたくん(札幌・7回目)は「朝ご飯おいしい。全部食べます。運動会がんばります」とみんな元気に答えてくれました。

会場ではあちらこちらから「おいしいね」「全部食べちゃった」などの声が聞こえました。

当日版!



いけまぜかわらばん 第5号

2010年8月8日 いけまぜ夏フェス in 滝川現地実行委員会 発行

体育館で運動会の始まりだ

運動会は体育館で開催されました。運動会開催をお知らせするアナウンスにつられて参加者が続々と体育館の中に集まってきました。

運動会は笛の合図で何人かが集まり、自己紹介をすることから始まりました。4つの色のグループに分かれ競技に移りました。

最初にボールリレーが行われチームの団結を固めました。その次につなひき矢玉入れの競技が行われ、勝負が終わるたびに大きな歓声が。起きていました。

さあ、みんなはがんばったのかな？



良くおいでいただきました 楽しんでいただきましたか 芳村代表実行委員長

今回の夏フェスを現地実行委員会の委員長を務めていただいた芳村委員長は、夏フェスの開催に当たり「準備などをみんなと相談しながら進めてきました。リーダーを通して考えて作っていきたい」と言っていました。猛暑の後の蒸し暑さに参加者は少しも負けずにいけまぜ夏フェスを楽しむことができたようです。

いよいよ今年のフィナーレ

フィナーレは高橋いけまぜ実行委員長の司会で始まりました。

芳村現地実行委員長が「楽しかった今年のいけまぜ夏フェスもいよいよ終わりです。楽しんでいただけましたか」とあいさつしました。

参加者には一木先生から「がんばったね」と終了証書が渡され、受け取った参加者は誇らしげに家族やボランティアの人にみせていました。

さあ来年も修了証をもらうぞ!!!

来年もまたお会いしましょう

参加者一人一人がいろいろな思い出を作って今年のいけまぜが終わりました。フィナーレの会場では楽しかった思い出をより強く心に残すため全員で記念写真を撮影し来年の再会をお互いに誓い合いました。

帰り支度を済ませた参加者はそれぞれバスや自家用車で家路につきました。

次期開催地は千歳です

来年のいけまぜ夏フェスは千歳市が会場となります。滝川の浅野さんからサーモンくんにいけまぜの旗が渡されました。

千歳の準備委員の藤田さんは「準備をして待っています。来年も元気に再会しましょう」と語ってくれました。サーモンくんも「千歳にカモン」と言ってますよ。みんなでサーモンくんに会いに行こうぜ!



来年、千歳市で再会しましょう・・・!

